

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立朝日小学校

目標を持ち、進んで運動に取り組もうとする児童の育成

<体育の授業について>

※保健に関する取組みについても、できる限り御記入ください

- 自ら考え判断する力や仲間と協力して進んで運動に取り組む態度を育てるとともに、児童の実態に応じた場づくりや教材・教具、学習カード、学習形態等の工夫・開発に努める。
- 短期的、長期的なねらいを児童に示し、意欲をもって取り組めるように指導計画をたてる。
- 保健と体育の実技が相互に関連をもてるように授業計画を工夫する。
- 授業開始時には、これまでの体力テストの結果をもとに、握力や柔軟性などの体力向上を図るための準備運動を継続的に取り入れる。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 体育的行事（体育大会・縄跳び大会等）に合わせた時期に業間体育を行い、体育的行事への児童の意欲を高め、目標をもって取り組めるようにする。
- 「業間体育」では、時間走、縄跳びを実施して定期的に体を動かす機会を確保する。
- 業間体育での児童自身の頑張りが視覚的に分かり、活動意欲が高まる学習カードの工夫をする。
- 体育館使用計画を作成し、安全に体育館を使って体を動かせる機会を確保する。また、鉄棒やなわとびのジャンピングボードを常時設置したり、竹馬や一輪車などを使えたり、いつでも運動に取り組める環境の整備をする。
- 委員会活動と連携し、体力を向上させる取組みについて子供たちで考えたことを積極的に取り組んでいく。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 栄養教諭と連携を図り、定期的に食に関する指導を行う。また、お便りを通して、保護者の児童の健康への関心を高めてもらう。
- 体育大会やマラソン大会では保護者ボランティアと協力したり、なわとび大会では積極的に参観してもらったりするなど、開かれた学校づくりを心がける。それを通して、児童・保護者の運動への取組みの意識を高める。

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立 常磐小学校

いろいろな運動・競技にチャレンジし、意欲的に技能や記録を伸ばそう！

<体育の授業について>

- 基礎的な体力や技術の向上を図るため、瞬発力を高めるダッシュ、柔軟性を高めるストレッチ運動、調整力を高める縄跳び等を取り入れていく。また巧みな動きを高めるために用具を使っての運動や遊びを取り入れる。
- 体力テストの反復横跳びの記録を伸ばすため、準備運動として体幹運動や走力アップドリルなどを継続して取り入れ、敏捷性を鍛える。
- 目標をもって、一人ひとりが運動に積極的に取り組めるよう「めあて」「ふり返り」の時間を確保する。
- プール学習時の準備運動として、ラジオ体操に取り組みさせる。リーダーなどが前に立って手本を見せながら行うことにより、正しいラジオ体操の仕方を知り、実践できるようにする。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 一輪車、竹馬に取り組みさせる。達成度に応じて級を設け、がんばりタイム（業間体育）時に、友だち同士で、できる技を紹介するなどして児童の意欲を高める。
- 1年を通じて、竹馬、鉄棒やなわとび運動等に取り組ませるため達成カードを使い、級が上がったことやできるようになったことが実感できるようにする。
- がんばりタイム（業間体育）の時間に、金谷走（持久走）・なわとびなどに取り組ませる。年間通して記録を取り、その伸びが分かるようにして意欲をもたせ、その喜びを味わわせる。
- 体育大会において、一輪車の発表を取り入れることにより、練習意欲を高める。
- 給食時に、目の体操や歯磨きを全校一斉に取り組む。
- アクティブワンの取組みとして、大休みや昼休みに全校遊びを行い、鬼ごっこやドッジボール等体を動かす遊びを全校で行う。また、積極的に一輪車や竹馬を使った遊びにも取り組ませるようにする。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 水泳授業では、指導講師派遣事業を利用し、児童に専門的な指導を受けさせる予定である。
- 授業時は、常に換気を心がける。また道具の使用後は、道具の消毒や手指消毒を行う。

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立糸生小学校

健康と体力の向上をめざし 考えて行動できる子

<体育の授業について>

- ・タブレット等ICTの活用に積極的に取り組む。自身や友達の動きを確認したり、比較したりできる利点を生かして、自身の改善点の把握や、技能の向上を視覚的に実感できるような授業づくりに取り組む。
- ・指導内容を明確にするために年間指導計画を見直し、高学年への系統性が見えるようにする。それぞれの領域の運動の特性を押さえながら、児童の実態に応じてその競技のおもしろさが実感できるような授業づくりに取り組む。
- ・体育授業担当者が授業内容の共有を行うことで、系統的・段階的に上の学年につながるような授業づくりを進め、確かな知識と技能の定着を図る。
- ・担任と養護教諭が連携し、児童の実態に合わせた保健の学習指導を行う。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- ・晴天時の業間体育で5分間走を行い、個人や縦割り班ごとに目標をもたせ、持久力の向上を図る。
- ・雨天時の業間体育で音楽に合わせてダンスやストレッチに取り組み、楽しみながら柔軟性や巧緻性などの向上を図る。
- ・猛暑時や冬季の業間体育でなわとびに取り組む。学校行事（なわとび大会）と関連させ、縦割り班ごとに、めあてを決め、目標に向かって協力しながら運動に取り組む楽しさが実感できるようにする。
- ・全校で運動に慣れ親しむことができるような企画を体育委員会が計画・運営する。異学年の交流を通して、学校全体で楽しみながら運動技能や体力の向上を図っていく。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・体育大会は、競技内容を子どもたちが一から考えたものにする。学校、家庭、地域が一体となって取り組み、運動する楽しさを共有できるようなものにする。
- ・ホッケー選手やサッカー選手、外部団体を講師として招いての水泳教室など、専門的な知識や技能にふれることができる出前授業の機会を多く設定する。プロの実技を間近で見ることにより、運動に対する興味・関心を高め、一緒にプレーすることで、知識と技能の習得につなげていく。（新型コロナウイルスの感染状況に応じる）

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立宮崎小学校

目標を持ち、主体的・継続的に運動に取り組むことができる児童の育成

<体育の授業について>

- ・学習カードなどを用いて、毎時間の目標設定や振り返りの時間をしっかりと確保することで、次の授業へのつながりを生み、個々の主体性を促す。
- ・一般的な準備運動に加え、単元ごとの運動の特性に合わせたウォーミングアップやコーディネーショントレーニングを取り入れることで、体の使い方についても意識できるようにする。
- ・ICT機器を活用し、児童が自分の動きを確認したり、互いにアドバイスを送り合ったりする機会を設ける。
- ・保健体育の授業では、養護教諭や外部講師（6年生「薬物乱用の害」での薬剤師など）との連携を図ることで、より専門的な知識・技能を身に付ける。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- ・1000m走タイムトライアル（1回目：5月 2回目：10月）
→年2回の1000m走タイムトライアルを行う。全学年が同じ距離であるため、1回目は前年度の自分（1年生以外）、2回目は1回目の自分と比較して取り組むことができる。
 - ・なわとび大会（2月）
→全学年が「持久跳び」と「回数跳び」に取り組む。また、大会で実施する跳び方以外にも挑戦できるように、学年に合わせた「級表カード」も合わせて取り組んでいく。
- ※上記の2つについては、1ヵ月前の昼休みに、それぞれ「ランニングタイム」と「なわとびタイム」を実施する。それぞれの時間が受動的な活動にならないよう、運動委員会主催とすることで、主体的な活動を目指していく。また、全校共通の「がんばりカード」を活用し、個に合った目標設定と振り返りにつなげていく。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・いつでも運動に取り組むことができる環境づくり
→竹馬や一輪車を定期的に補充したり、体育館のギャラリーに鉄棒を常設したりすることで、様々な運動にいつでも取り組むことができるようにする。
- ・PTA健康安全委員会との連携
→今年度は、PTA健康安全委員会がコロナ禍による運動不足解消のために、「家庭で実践できる運動」を全家庭に向けて紹介する。体力テストの結果や、体育授業で教員が感じていることなども踏まえた呼びかけや内容構成をお願いする。
- ・コロナ禍での工夫
→全校が一斉に同じ取組みをする場合は、学年間の交流を避けるために、場所や時間帯の割り当てなどを行う。

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立四ヶ浦小学校

めあてを持ち、運動に意欲的に取り組む児童の育成を目指して。

<体育の授業について>

- ・全学年で準備運動の行い方を統一し、怪我の防止に努める。
- ・体育の授業にめあてをもって取り組み、単元を通した自分自身の成長を感じることができるよう、がんばりカードを活用する。(マラソン、なわとび、鉄棒、マット運動など)
- ・保健学習として、養護教諭による生活習慣、歯科指導などを学期ごとに実施する。

<特別活動について ※「アクティブワン(業間運動)」を含む>

- ・縦割り班での仲よし遊びを学期に1回程度設け、異学年による外遊び、室内遊びを行うことで運動好きな児童の育成に取り組む。
- ・1回15分の業間体育を週2回設ける。春から秋のマラソン大会までは持久走、マラソン大会から冬季にはなわとびを行う。めあてをもって取り組めるよう指導法を工夫したり、がんばりカードを取り入れたりして、児童が意欲的に取り組めるようにする。
- ・決まった活動がない木曜日の昼休みを通常より15分長く設定し、自分の好きなスポーツに親しんだり、友達と工夫した運動をしたりすることができるようにする。
- ・丹生郡陸上記録会に向け、出場学年は9月初旬から走・跳・投の基礎練習をする。

<その他(家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等)>

- ・コロナ対策のため、本年度は家庭や地域との連携は行わない。

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立城崎小学校

運動に親しみ、励まし合い競い合って、体力を高める

- 目標をもって主体的・対話的に一生懸命学び合う授業づくり
- 授業規律と集団行動の徹底
- 教員間での授業実践や感染症対策の工夫の共有

<体育の授業について>

- 準備運動に、握力向上のためのグーパー体操や、上体起こし向上のための腹筋運動を取り入れる。
- 児童が目標をもち、意欲的に学習活動に取り組めるようにめあての提示や振り返りの工夫をする。
- 始めと終わりの挨拶、話の聴き方・話し方などの授業規律や移動・集合・整列等の集団規律を指導する。
- 水泳授業のはじめにラジオ体操を準備運動として取り入れる。
- 養護教諭と連携を図り、年間計画に基づいた保健学習・保健指導をする。

<特別活動について ※「アクティブワン(業間運動)」を含む>

- 体育的行事の充実(準備運動にラジオ体操を取り入れる)
 - (1学期) ・運動会(5月)・1～6年水泳教室(6・7月)
 - (2学期) ・郡陸上記録会(9月)・マラソン大会(11月)
 - (3学期) ・なわとび大会(2月)
- 保健指導の充実(学級活動)
 - ・毎月重点指導項目を設定し、健康で安全な生活習慣の育成について、計画的に学級指導を行う。
- 業間運動 毎週火・金曜日
 - ・5月～11月 ・晴天時は長距離走を行う。高学年は記録をとり、記録の向上をめざす。
 - ・11月～3月 ・2学年ごとに、短なわの練習に取り組む。
- 「アクティブワン」の内容について
 - 業間活動での長距離走、縄跳びと、週に一回の昼休みデラックス(45分間)での運動遊びの推奨、陸上練習などで、運動する時間を確保する。

<その他(家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等)>

- 食育の推進
 - ・地域人材を活用した体験学習を行う。
- コロナ禍での工夫
 - ・運動会を午前中開催とし、競技種目内容の検討、改善をする。
 - ・子供同士の距離をとったり集合回数を減らしたりしながらマラソン運動(業間運動)を実施する。

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書 (小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立織田小学校

伸ばそう！おたっ子の力

- ①体力 業間運動（マラソンやなわとび）で体力の向上を図る。
- ②心力 体育的行事を中心に、忍耐力や向上心を育む。
- ③協力 授業でお互いに支え合ったり、縦割り班で協力したりする中で助け合う力を養う。

<体育の授業について>

- 授業で運動量を確保する。
コロナウイルスの影響により、運動をする時間や友達との関わりが減っている。そこで、授業時間を使って友達と関わるような活動を取り入れつつ、運動量の確保に努める。（鬼ごっこやリレー等）
- 衛生的な生活を指導する。
衛生面へ配慮や病気予防のために、換気や手洗いの効果を示すとともに手洗いやうがいの仕方を指導、徹底し病気の感染予防に努める。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- いきいきタイム（業間）の取組（週2回火・木）
5月下旬～10月下旬はマラソンを行う。時間を5分間とし、校舎周りを走る。走運動の向上はもちろん、マラソンを通して目標を達成する喜びやみんなで走る楽しさを感じさせたい。また、マラソンカードを用いて周回数を記録していくことで意欲を高め、達成感を味わわせたい。雨天時や冬季間はなわとび（短縄・大縄）を行い、持久力の向上や目標に向かって協力していく力を養う。
- OTAタイム（昼休み）の取組
時期を設定して体育委員が企画し、全校での鬼ごっこやリレー、縦割り班対抗のドッジボール大会を実施する等、縦割り班のつながりを深めながら体力の向上を図る。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組等）>

- トップアスリート派遣事業（なわとび）
11月下旬に講師を招き、なわとびの実技指導を受ける。講師の方のパフォーマンスを見たり、実際に教えていただいたりする中で、児童のなわとびへの意欲の向上につなげていく。
- OTAっ子体操
コロナ禍で児童の運動不足が懸念される中、準備体操と体づくり運動として短時間でできる体操を考えた。体育科の授業を始め、機会を見つけて取り組んでいきたい。

(別紙様式1)

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立萩野小学校

心身の健康を保持し、めあてに向かって 一生懸命運動する児童の育成

<体育の授業について>

- 領域や内容に応じて、めあてのもたせ方を工夫し、めあてに向かって運動したり振り返りをしたりすることで、意欲の向上を図り、達成感をもたせる。
- 全校で体育ファイルを作成し、学習カードをつづり、自分の成長が見えるようにする。
- 水泳や縄跳び運動、持久走では、検定表を活用して、運動意欲を高める。
- 保健領域では、授業後も自分自身のからだと心の健康を意識して生活できるよう、養護教諭や家庭と連携を取り、生活習慣チェック等を継続して行っていく。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 業間運動では、週1回マラソンや全校リレーに取り組み、体力の維持・向上を図る。
- マラソンでは音楽を流すことにより、素早く行動したり意欲的に走ったりできるようにする。マラソンカードに走った分の色を塗るようにして、今までの成果を実感し、これからの意欲が高まるようにする。
- 全校リレーでは縦割り班でチームを作り、リレーを行う。全学年で協力してゴールを目指したりタイムを縮めるための作戦を考えたりすることで、体力向上と仲間意識の高まりを目指す。
- 業間運動の成果を発揮する場として、秋季にマラソン大会を行う。
- 体育的行事では、スローガンや個人目標を設定して挑戦する機会を設定し、やり遂げる喜びを味わえるようにする。また、児童が主体となって取り組めたり、自主的に参加したりできるように工夫する。
- 大休みや昼休みの自由な時間には、外での運動を推奨する。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 体育的行事では、保護者や地域の方の応援や声かけが児童の励みになるよう、連携しながら取り組む。
- 食生活や睡眠時間、ゲーム時間などの生活習慣について考える機会を設け、心身ともに健康で安全な生活ができるよう支援する。（養護教諭との連携、委員会の発表等）